

【あ】～【お】		レパートリー 曲
<b>亜麻色の髪の乙女</b>	(ヴィレッジ・シンガーズ)	
亜麻色の長い髪を 風が優しくつつむ		昭和56.06
<b>雨の御堂筋</b>	(欧陽菲菲)	
小ぬか雨降る 御堂筋		昭和46.10
<b>愛のさざなみ</b>	(島倉千代子)	
この世に神様が 本当にいるなら		昭和43.07
<b>愛は傷つきやすく</b>	(ヒデとロザンナ)	
自由にあなたを 愛して愛して		昭和45.06
<b>悪魔がにくい</b>	(平田隆夫とセルフターズ)	
おまえが好きさ 好きなんだ		昭和46.10
<b>愛人</b>	(テレサテン)	
あなたが好きだから それでいいのよ		昭和60.02
<b>天城越え</b>	(坂本冬美)	
隠しきれない 移り香が		
<b>アモーレ・アモーレ</b>	(川上大輔)	
許されないと 分かっている		平成25.10
<b>アジアの海賊</b>	(坂本冬美)	
追い風吹けば波に乗れ		平成21.01
<b>いまさらジロー</b>	(小柳ルミ子)	
あれは確か 二年前の		昭和59.05
<b>浮世草紙</b>	(坂本冬美)	
おとぎ噺じゃ 日も夜も明けぬ		平成20.05.14
<b>お久しぶりね</b>	(小柳ルミ子)	
お久しぶりね あなたに会うなんて		昭和58.07
<b>鬼退治</b>	(森高千里)	
どこに隠れていたの 全然気着かなかった		平成02
<b>思い出ぼろぼろ</b>	(内藤やす子)	
ドアを細目に開けながら 夜更けに		昭和51.09
<b>弟よ</b>	(内藤やす子)	
独り暮らしの アパートで		昭和50.11
<b>おれと彼女</b>	(ピンキーとキラーズ)	
おれと彼女は 仲がいい		昭和43.09
<b>女は抱かれて鮎になる</b>	(坂本冬美)	
風が鳴く 雲が啼く		平成28.08.17

【か】～【こ】

<b>風うた</b>	(坂本冬美)	
赤いセロファン とかしたような		平成27.03.04
<b>風に立つ</b>	(坂本冬美)	
青嵐に吹かれて 胸をはる		平成11.02.10
<b>カラスの女房</b>	(堀内孝雄)	
お酒をのめば 忘れ草		平成10.08
<b>硝子坂</b>	(高田みづえ)	
悲しいのでしょうと 夢の中		昭和52.03
<b>北空港</b>	(浜圭介、桂銀淑)	
夜の札幌あなたに逢えて		昭和62.11.05
<b>京都の恋</b>	(渚ゆう子)	
風の噂を信じて 今日からは		昭和45.06
<b>京都暮情</b>	(渚ゆう子)	
あの人の姿 懐かし 黄昏の		昭和46.10
<b>気分爽快</b>	(森高千里)	
やったね おめでとう いよいよ		平成06.01.31
<b>グッドバイマイラブ</b>	(アンルイス)	
グッドバイ マイラブ この街角で		昭和49.03
<b>恋の奴隷</b>	(奥村チヨ)	
あなたと逢った その日から		昭和44.06
<b>恋のハレルヤ</b>	(黛ジュン)	
ハレルヤ 花が散っても		昭和42.03
<b>恋の季節</b>	(ピンキーとキラーズ)	
忘れられないの あの人が好きよ		昭和43.07
<b>恋のフーガ</b>	(ザ・ピーナッツ)	
追いかけて追いかけて		

【さ】～【そ】

<b>ジェラシー</b>	(井上陽水)	
ジェラシー 愛の言葉は		昭和56.06.21
<b>時代遅れの女になりたい</b>	(チェウニ)	
恋を覚えたいの 頃みたい		平成13.12.19
<b>人生いろいろ</b>	(坂本冬美)	
死んでしまおうなんて 悩んだりしたわ		
<b>情熱の花</b>	(ザ・ピーナッツ)	
ラララーララー		昭和34
<b>捨てられて</b>	(長山洋子)	
でもね あの人 悪くないのよ		平成07.03.24
<b>そんなヒロシに騙されて</b>	(高田みづえ)	
おまえが好きだと 耳元で言った		昭和50.08
<b>さすらいのギター</b>	(小山ルミ)	
あなたに全てを 奪われた私		昭和46.06.01

【た】～【と】

<b>旅人よ</b> 風にふるえる 緑の草原	(加山雄三)	昭和41.10
<b>太陽は泣いている</b> 夏が来るたびに 思い出す	(いしだあゆみ)	昭和43.06
<b>ダイヤモンドヘッド</b>	(インソメンタル)	
<b>小さなスナック</b> 僕がはじめて君を見たのは	(パープル・シャドウズ)	昭和43.03.25
<b>津軽海峡冬景色</b> 上野発の夜行列車おりた時から	(坂本冬美)	
<b>済州エアポート</b> 今朝のつばさは 特別に	(半田浩二)	昭和63.07
<b>天使の誘惑</b> 好きなのに あの人はいない	(黛ジュン)	昭和43.05
<b>トーキョウトワライト</b> どうしようもなく 会いたくなる	(チェウニ)	平成11.09
<b>時の過ぎゆくまに</b> あなたはすっかり つかれてしまい	(沢田研二)	昭和50.08
<b>東京ララバイ</b> 午前三時の 東京湾は	(中原理恵)	昭和53.03
<b>ドール</b> パイと横向いて 出て行ったきり	(太田裕美)	昭和53.07

【な】～【の】

<b>涙の季節</b> ル ルルルルル	(ピンキーとキラーズ)	昭和44.01
<b>涙の太陽</b> ギラギラ太陽が 燃えるように	(エミー・ジャクソン)	昭和44.01
<b>七色の しあわせ</b> 七色のしあわせ 虹の色に	(ピンキーとキラーズ)	昭和44.01
<b>女人高野</b> 一人で行かせて この奥山は	(田川寿美)	平成14.10
<b>虹色の湖</b> 幸せが住むという虹色の湖	(中村晃子)	昭和43.
<b>ノーエ節</b>	(インソメンタル～寺内風)	

【は】～【ほ】

<b>花になれ</b> 夢見て生きた はたちのように	(田川寿美)	平成16.10.20
<b>バイブライ</b>	(インソメンタル)	
<b>陽かげりの街</b> 陽かげりの街には今日も	(ペドロ&カプリシャス)	昭和50.11
<b>火の国の女</b> 肥後は火の国よ 恋の国	(坂本冬美)	平成03.04.12
<b>百夜行</b> この世のむこうの	(坂本冬美)	平成29.03.06
<b>二人でお酒を</b> うらみっこなしで 別れましょうね	(梓みちよ)	昭和49.03
<b>ベサメムーチョ</b> 姿見に背中映し もどかしく	(川上大輔)	平成11.02
<b>蛍の提灯</b> 女の方から 通って行くなんて	(坂本冬美)	平成08.03.27

【ま】～【も】

<b>真っ赤な太陽</b>	(美空ひばり)	
真っ赤に燃えた 太陽だから		昭和42.06
<b>また君に恋してる</b>	(坂本冬美)	
朝露が招く 光を浴びて		平成21.01
<b>曼珠沙華</b>	(山口百恵)	
涙にならない 悲しみのある事を		昭和53.12
<b>三日月</b>	(絢香)	
ずっと一緒にいた 二人で歩いた		平成18.09.27
<b>もしかして PART</b>	(美樹克彦 & 小林幸子)	
もしかして もしかして		昭和59.11
<b>もらい泣き</b>	(一青窈)	
ええいああ君からもらい泣き		平成14.10.30
<b>メモリグラス</b>	(堀江淳)	
水割を下さい 涙の数だけ		昭和56.04
<b>メイクアップシャドウ</b>	(井上陽水)	
初めての口紅の唇に 恥じらいを		平成05.07
<b>無言坂</b>	(香西かおり)	
あの窓も この窓も灯がともり		平成05.03.17

【や】～【わ】

<b>羅生門</b>	(坂本冬美)	
どしゃぶり雨に もる肌脱いで		平成18.06.07
<b>夜桜お七</b>	(坂本冬美)	
赤い鼻緒がぷつりと切れた		平成06.09
<b>リバーサイドホテル</b>	(井上陽水)	
誰も知らない夜明けが明けた時		昭和57.07
<b>笑いじわ</b>	(瀬川暎子)	
悲しい時にも 笑い癖		平成13.08
<b>私がおばさんになっても</b>	(森高千里)	
秋が終われば冬が来る		平成04.06